

C100-Reference

Active 2-Way Coaxial Nearfield Monitor

MADE IN GERMANY

KS digital C-Referenceシリーズは10年間にわたって多くのスタジオで採用されてきたCoaxシリーズの後継機種です。特許技術のFIRTEC DSPにより、歪みやリニアリティなどの性能が最適化されました。これは世界初のリニアフェイズコンパクトモニターであり、すべての楽器をステレオイメージで表現することを想定しています。

〈特別設計のホーンユニット〉

C100-Referenceの放射パターンは、円錐形の70°ホーンと10 inchドライバーの同軸設計によって実現されており、スタジオでの使用において完璧なスイートスポットを得るために特別に設計されています。

〈強力で高効率なパワーアンプ〉

各パスのパワーアンプ出力は200W以上（ピーク）で、どのような用途にも十分なパワーを供給します。使用されているドライバー（高性能バス・ドライバーと高音域のコンプレッション・ドライバー）の高い効率性により、高いリスニング・ボリュームでも歪みレベルを最小限に抑えることができます。内蔵のPWMパワー・アンプは高効率で、廃熱をあまり伴わずに電力を生成するため、C100は壁掛けでも、どのようなリスニング・ポジションでも最適に動作します。



〈特許技術 FIRテクノロジー〉



FIRTEC(有限インパルス応答テクノロジー)はすべてのKSDラウドスピーカーに採用されています。この技術により、音楽信号が正しい時間、位相、音色で再生されることを保証します。内蔵DSPはシャーシ、エレクトロニクス、キャビネット形状など、ラウドスピーカーの物理モデルを実行します。モデルのパラメータは、シャーシ、エレクトロニクス、アンプなどの使用部品の公差や、キャビネットのエッジの音響現象まで考慮し、実際のラウドスピーカーの測定によって生成されます。FIRTECフィルタリング技術によるFPGAベースの信号処理の最大の特徴は、振幅周波数特性だけでなく、位相特性もリニアライズすることです。つまり、FIRTECプロセスでは、音楽を正しい時間構造のまま再生します。

〈専用リモコンKSD-RC (別売)〉

C8-ReferenceはオプションのKSD-RCリモコンを使用することで6つのパラメトリックフィルター、ディレイ、ゲインなどをリスニングポジションから簡単に調整できます。さらに、KSD-RCのロータリー・コントロールにより、セットアップ・スピーカーのマスター・ボリュームを簡単に調整することができます。これは、外部プリアンプを使用せずに複数のスピーカーの音量を同じ音圧レベルにコントロールしたい場合に特に便利です。



C100-Referenceはフロントパネルをチェリーウッド/ブラックの2種類から選択することができます。



SPECIFICATIONS

構造	2WAY 同軸構造
AD/DAコンバーター	24 bit $\Sigma \Delta$ 変調 64倍オーバーサンプリング
レイテンシ(A-D-Aリニアフェイズ)	3 ms
入力	アナログXLR - バランス入力 +4dB(V)
入力インピーダンス	20 k Ω
最大出力レベル	118 dB SPL (1m)
DSP	FIRTEC™イコライゼーション FIRクロスオーバー, リミッター, 6 User-EQ
クロスオーバー周波数	1,300 Hz
スピーカーユニット	70° ホーン 1 inchコンプレッション・ドライバー 10 inch ウーファー/ミッドレンジ・ドライバー
内蔵アンプ	クラスDアンプ 250 W / 250 W ピーク
最大出力	350 W
リモートコントロール	KSD-RC(別売)(有線接続)
周波数帯域	35 – 22,000 Hz (+/- 3 dB)
電源	115 V AC
アイドル時消費電力	8 W
外形寸法 (W×H×D)	285 x 350 x 350 mm
重量	15 kg
テーブルスタンド	なし